



# YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2021年7月号

## 高校で上位の成績を取るのには意外簡単なのです！

今年の卒業生から筑前高校で学年1位の成績を取ったと連絡がありました。また去年の今頃、勉強が嫌いで塾に来るのも嫌がっていた生徒が、糸島高校で15位の成績を取ってきました。

このように高校では中学の時には体験出来ないような成功体験をするチャンスが訪れます。ではなぜこのようなことが良くなり得るのでしょうか？

その前にみなさんは、糸島市は都会だと思いませんか？それとも田舎だと思いませんか？糸島は山もあって海もあって住んでいる身としては絶対に田舎だと思つてますが、こと受験に関しては糸島ってすごく都会なのです。

糸島には地下鉄が通っていても交通の便がいいのです。実は、日本広しといえど地下鉄が通っているところってそんなに沢山あるわけではないのです。交通の便が良いとどうなるのかと言つて、受験する高校がいろいろと選べるようになるのです。すると受験校の生徒のレベルが層別に分かれるという「都会型」の現象が現れてくるのです。

層別に分れるとはどのような事を言つのかというのを、糸島地区の学区である第6学区を例に説明したいと思います。図1のように第6学区には修猷館、城南、筑前、西陵、糸島、玄洋等いろいろな高校がありますが、交通の便がいいのでどの高校にも通う

ことができます。工業高校や農業高校も含めるとさらに選択肢が増えます。

しかし、普通のエリアであれば、そこまで交通の便が発達していないので、右側の黄色で書いている「他地区」のように3つ位の高校からしか選べないのです。私が住んでいた長崎の佐世保でもこのようなものでした。

するとどうなるのか？「他地区」の矢印の幅が広いのに対して、第6学区の矢印の幅がとても狭くなっています。これこそが都会型の特徴なのです。この幅が狭いということは、狭い幅に沢山の生徒がひしめき合っているで、僅差の勝負になり受験競争が厳しくなることを表します。

じゃあこれが、入学してしまうとどうなるのでしょうか？図2を見て下さい。中学の時は縦長に200人の生徒がいます。しかし、筑前高校を例にとると中間層の生徒が横長に400名いるのです。上

層別に分れるとは

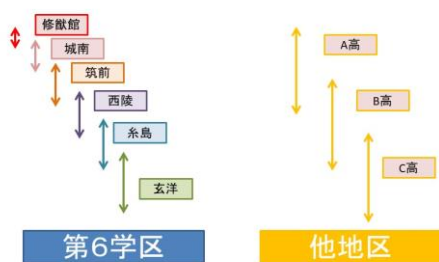


図1

誰にでもチャンスが訪れる！！



図2

の方の生徒は上位校を受験し、下位の生徒は不合格になっていくからなのです。

筑前高校の生徒は中間層からやや上の生徒が400名集まりますし、糸島高校は中間層からやや下の生徒が320名集まることになります。ほとんど同じ学力の生徒が多いので、頑張り方次第では中学の時には取ったことがないような成績が取れるようになるのです。半面、ちょっと手を抜くとクラス最下位や学年最下位のような逆パターンも出てくるのです。

糸島学習塾YESでは高校合格も大切にしていますが、高校に入ってから上位に行くことの方がより重要だと考えています。そのためには、受験中に身に着けた学習習慣をいかに長く維持し続けるのが重要です。同じ能力なら学習習慣がより身に付いている生徒の方が上位に行くからです。なので、YESでは4月は新高1生を無料でサポートして学習習慣の維持を図っているのです。

# やる気相談室

## 語彙力

### 国語は語彙力がすべての土台(ドラゴン桜)

ドラゴン桜2が終わってしまいました。なかなか

おもしろかったですね。前回は数の暗黙知という

ことで計算力の大切さを書きましたが今回は語彙

力に関して書きます。

ドラゴン桜の話で、国語の根本的な力が不足し

ている生徒にあるゲームをするように勧めるのですが何のゲームでしょうか？

そのゲームとはなんとあの「マジカルバナナ」でした。

マジカルバナナとは赤いリンゴを丸い宇宙と関連する単語を順番に答えていくゲームなのです。イメージが出来る方はYouTubeで検索するのすぐに出てくると思いますので、参考にしてみてください。

ドラマの中では休み時間など隙間時間を

使ってマジカルバナナで語彙力アップを図っていました。

しかし、普通はこんなことやって本当に語彙力が上がるのか？と不安になる方も多いと思います。

しかし、日ごろから子供たちの語彙力アップに関わっている者としては、とてもいいなあというのが感想でした。ただ、高2

高3からやるにはどうかなあという意見は当然あると感じています。

何故効果があると思うのかというと、糸島学習塾YESでは辞書引き学習を速読読の授業の際に実施しています。辞書引き学習は低学年の生徒には、知っている単語に

ペタペタと付箋を貼るだけの単純な作業です。最初はこんなことをして本当に語彙力が上がるのか不安でした。しかし、いざやってみるとこれが本当に伸びるのです。

マジカルバナナもほんのちょっとしたしたことかもしれませんが学校の休憩時間などのちょっとした隙間

時間に継続することが出来れば間違いなく効果は高まるのではないかと思います。

一日にすれば増える語彙数はたったの10語とかの世界かもしれませんが、その小さな差が一か月、1年と継続していくと、とてもでない差になるのです。

国語はすべての教科に通じる土台のようなものです。その国語の土台となるのが語彙力なのです。子供たちが自ら語彙力が重要だとは思ってくれません。私達教育に携わる者が、そして保護者である皆様が、語

彙力の重要性を認識して常に子供に接することが重要だと感じています。



|                                     |                     |
|-------------------------------------|---------------------|
| <b>問題</b><br>語彙力を養うために東大専科が遊んだゲームは？ | <b>A</b><br>マジカルバナナ |
| <b>B</b><br>山手線ゲーム                  | <b>C</b><br>しりとり    |



#### 書籍紹介

角川ことばえじてん

監修 深谷佳助

この本は YES で導入している辞書引き学習の考案者である深谷氏が監修なさっています。すべてひらがなカタカナの辞典で小さな子どもでも読みやすいです。時代を選ばないシンプルで可愛いイラストつきなので単語と意味のマッチがしやすいです。言葉を覚え始めたら子供なら興味を示してくれるでしょう。

あかさたな順に色分けされていて、今後大きくなった時に使う辞書の引き方の練習にもなります。どっしりと重めの辞典ですが誕生日や入学、進学祝いにも喜ばれると思います。わからない言葉が子供が聞いてきた時に子供と一緒に調べながら読んだらとても良いと思います。言葉の意味だけでなく、野菜や乗り物、体の部位など、簡単な図鑑的なページがありここから図鑑に発展していく基盤になりそうです。

また、深谷先生の監修だけあって、この辞典の使い方が前半に書かれているのがとても良いです。辞書にペタペタ子供と一緒に付箋を貼って日付をつけておくだけで成長記録になります。また、付箋の付いたところをクイズにして遊ぶことも出来ます。一番言葉を覚える幼児期にこの本と出会い、この本で子供と遊びながら楽しく遊ぶことは、子供の将来を大きく変えることになるでしょう。3600円とかなり値段が張りますが投資する価値が最も高い本だと言えるでしょう。教室に見本があるので興味のある方はご連絡ください。